

平成 20 年度畜産振興補助事業の評価結果の公表について

平成 22 年 1 月 4 日
地方競馬全国協会畜産振興部

地方競馬全国協会（以下「NAR」という。）では、NARが行う畜産振興補助事業（以下「補助事業」という。）を効果的かつ効率的に実施するため、前年度に終了した補助事業を評価（以下「事業評価」という。）する仕組みを導入しています。

客観的かつ的確な事業評価を行うにあたり、NARは、外部有識者から構成される「畜産振興補助事業評価委員会（以下「評価委員会」という。委員名簿は表参照）」を設置し、評価委員会の意見を聴いています。

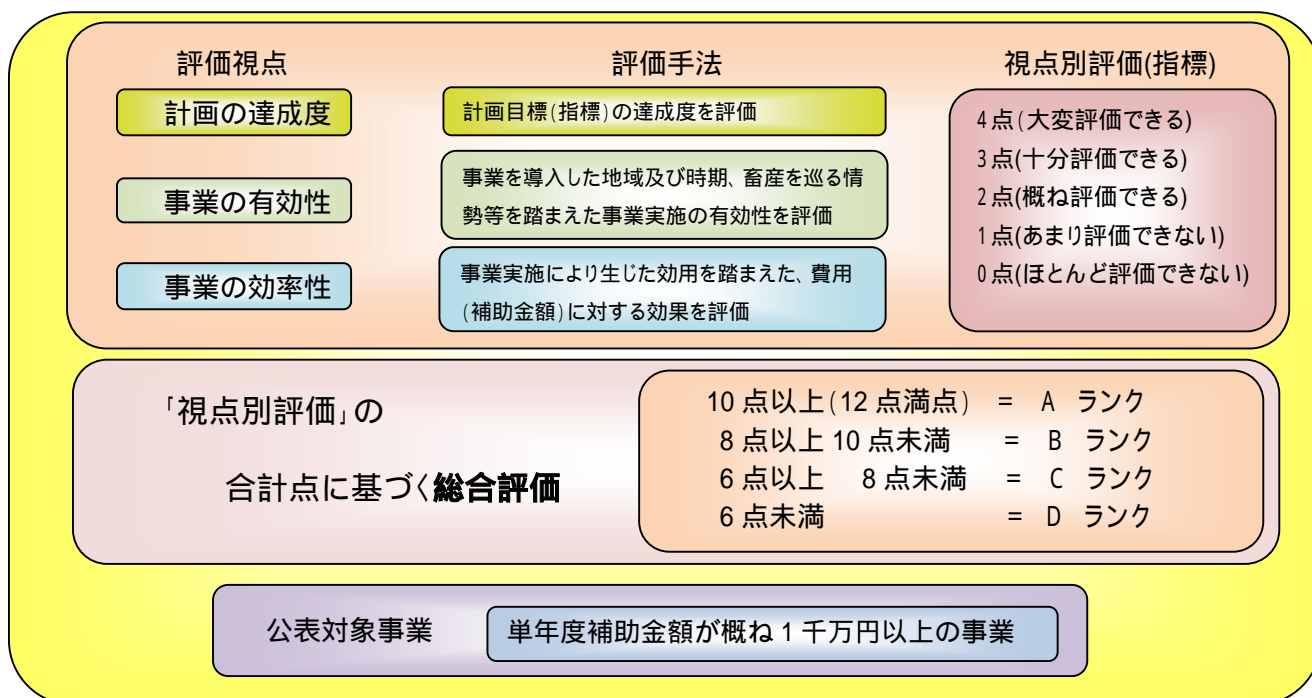
また、NARは、事業評価の結果を外部に公表することにより、補助事業の有効性及び透明性を確保することとしています。

平成 21 年度は、平成 20 年度に実施された補助事業（67 団体、93 事業件数、補助金 636,045 千円）を対象として事業評価を行い、今般、その結果がまとまりましたので公表します。

表．畜産振興補助事業評価委員会委員名簿（敬称略、五十音順）

委員氏名	所 属	役 職 名	備 考
小澤周司	財団法人 全国競馬・畜産振興会	管 理 部 長	座長
鈴木秀夫	独立行政法人 農畜産業振興機構	畜産振興部長	
廣川 治	独立行政法人 家畜改良センター	理 事	
本好茂一	日本獣医生命科学大学	名 誉 教 授	
守部公博	社団法人 家畜改良事業団	理 事	

図．「評価の基準」



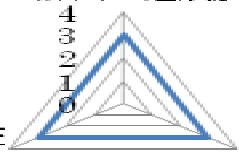
[平成 20 年度畜産振興補助事業評価結果]

事業名		(1)登録推進	事業実施主体名	(社)日本馬事協会	
補助金等の名称		技術料、登録推進費			
事業の内容	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 〔地全協〕 (平成 20 年度) 畜産振興事業補助実施要綱 (事業実施主体) (社)日本馬事協会種馬登録規程	事業の目的	趣旨	血統登録及び事務の円滑化
	事業の内容	軽種馬を除く馬の血統登録と個体識別を明確にし、繁殖成績を記録することによって馬の改良増殖を図るとともに、ばんえい競馬の公正確保並びに日本在来馬の保存等に寄与するため、次に掲げる事業の実施。 種馬登録審査…………… 北海道並びに青森、岩手、島根、熊本、大分、宮崎の輓系馬を主体に登録を実施した。 種雄馬名簿の発行… 前年度に種畜検査を受け、種畜証明書の交付を受けた種雄馬を収録した名簿を刊行し、関係者に配布(600 部)した。 登録実務者研究会… 種馬登録審査を厳正に行うための実務者研究会並びに馬の毛色及び特徴記載方法の講義と実馬による検討会を開催した。20 年度は 9 名を対象に実施した。(実施場所:家畜改良センター十勝牧場)		実施方法	登録審査、実務研究会、名簿作成等
			受益対象者	生産者等	
補助金額 (千円)		前年度(19 実績)	評価年度(20 実績)	今年度(21 計画)	備考
		41,123	45,281	48,892	
視点別評価	<p>I 計画の達成度 4 3 2 1 0</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>				【評価項目】 計画の達成度 事業の有効性 事業の効率性 (費用対効果)
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
			A	視点別評価の合計点が 10 点以上(12 点満点)	
	合計点	10	B	視点別評価の合計点が 8 点以上 10 点未満	
	判定(ランク)	A	C	視点別評価の合計点が 6 点以上 8 点未満	
			D	視点別評価の合計点が 6 点未満	

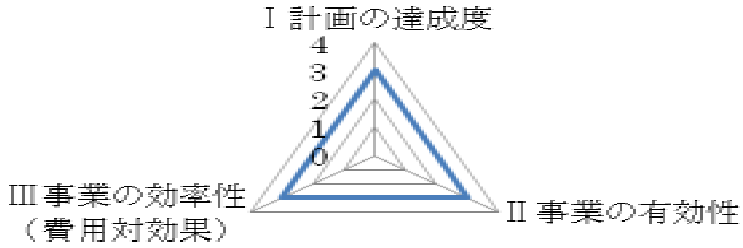
[平成 20 年度畜産振興補助事業評価結果]

事業名		(3)農用種雌馬の改良増殖推進		事業実施主体名	平取町農協他 6 団体
補助金等の名称		純粋種繁殖奨励費、農用種雌馬繁殖奨励費、事務手数料			
事業の内容	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 〔地全協〕 (平成 20 年度)畜産振興事業補助実施要綱 〔事業実施主体〕 農用種雌馬の繁殖奨励金交付規程		事業の目的	趣旨 農用馬の改良及び生産振興 実施方法 奨励金交付 受益対象者 農用馬の管理・飼養者、生産者
	事業の内容	<p>純粋種繁殖奨励…………… 当該年に(社)日本馬事協会に登録を受けた純粋種の純系農用種雌馬を外部から導入し、又は自家生産により保留した飼養者に奨励金を交付した。(導入・自家保留馬 1 頭につき 189 千円以内)</p> <p>農用種雌馬繁殖奨励…… 当該年に(社)日本馬事協会に登録を受けた純粋種以外の純系農用種雌馬を外部から導入し、又は自家生産し保留により増頭を行った飼養者に奨励金を交付した。(増頭 1 頭につき 126 千円以内)</p>			
補助金額 (千円)		前年度(19 実績)	評価年度(20 実績)	今年度(21 計画)	備考
		5,006	3,789	7,705	
視点別評価	<p>I 計画の達成度 4 3 2 1 0</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>				【評価項目】 計画の達成度 事業の有効性 事業の効率性 (費用対効果)
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が 10 点以上(12 点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が 8 点以上 10 点未満	
			C	視点別評価の合計点が 6 点以上 8 点未満	
		D	視点別評価の合計点が 6 点未満		

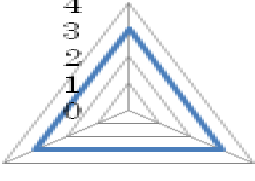
[平成 20 年度畜産振興補助事業評価結果]

事業名		(4)農用馬の繁殖奨励	事業実施主体名	上川生産農協連他 11 団体	
補助金等の名称		種付奨励費、種雄馬改良促進奨励費、生産奨励費、農用種雌馬改良促進奨励費、優良種雌馬保留奨励費、事務手数料			
事業の内容	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 (地全協) (平成 20 年度)畜産振興事業補助実施要綱 (事業実施主体) 優良種雄馬繁殖奨励金交付規程 子馬生産奨励金交付規程 優良種雄馬改良促進奨励金交付規程 優良種雌馬改良促進奨励金交付規程 優良種雌馬保留奨励金交付規程		事業の目的	趣 旨 農用馬の生産促進及び牽引能力の改良 実施方法 奨励金交付 受益対象者 農用馬の管理・飼養者、生産者
	事業の内容	優良種雄馬繁殖奨励 種付奨励…………… 当該年に種付けした純系種雄馬の飼養者に奨励金を交付した。(種雄馬 1 頭につき純粋種 56 千円以内、純粋種以外 28 千円以内) 子馬生産奨励 生産奨励 …………… 当該年産で、(社)日本馬事協会が行う血統登録を受けた純系農用馬の母馬飼養者に奨励金を交付した。(子馬 1 頭につき純粋種 25 千円以内、純粋種以外 18 千円以内) 改良促進奨励 優良種雄馬改良促進奨励… 当該年のばんえい能力検査合格馬(初回合格時のみ)の父馬飼養者に奨励金を交付した。(合格馬 1 頭につき 25 千円以内) 優良種雌馬改良促進奨励 … 当該年のばんえい能力検査合格馬(初回合格時のみ)の母馬飼養者に奨励金を交付した。(合格馬 1 頭につき 100 千円以内) 優良種雌馬保留奨励…………… 当該年に帯広市が行う地方競馬において初出走をした競走馬の母親であり、自身も地方競馬での出走履歴を持つ種雌馬飼養者に奨励金を交付した。(合格馬 1 頭につき 100 千円以内)			
補助金額(千円)		前年度(19 実績)	評価年度(20 実績)	今年度(21 計画)	備 考
		86,514	87,053	91,411	
視点別評価	I 計画の達成度  III 事業の効率性(費用対効果) II 事業の有効性				【評価項目】 計画の達成度 事業の有効性 事業の効率性 (費用対効果)
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が 10 点以上(12 点満点)	
			B	視点別評価の合計点が 8 点以上 10 点未満	
	判定(ランク)	B	C	視点別評価の合計点が 6 点以上 8 点未満	
D			視点別評価の合計点が 6 点未満		

【平成 20 年度畜産振興補助事業評価結果】

事業名		(5)その他 優良農用馬資源確保緊急特別対策		事業実施主体名	(社)日本馬事協会
補助金等の名称		ばんえい競馬生産奨励賞、事業推進事務費			
事業の内容	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 (地全協) (平成 20 年度)畜産振興事業補助実施要綱 (事業実施主体) (社)日本馬事協会優良農用馬資源確保緊急対策事業助成実施要領 帯広市優良農用馬資源確保緊急特別対策事業実施規程		事業の目的	趣旨 農用馬の資源確保
	事業の内容	生産者賞の交付…… 帯広市が定める重賞・特別競走・2 歳馬競走の中から概ね 100 競走を対象として、各競走の優勝馬等の生産者に対して生産者賞として生産奨励金を交付した。 事業推進の事務…… 対象競走の選定、生産者への生産奨励金の振込事務。			
	補助金額 (千円)	前年度(19 実績)	評価年度(20 実績)	今年度(21 計画)	備考
		10,300	10,230	10,300	
視点別評価	 <p>I 計画の達成度 4 3 2 1 0</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>				【評価項目】 計画の達成度 事業の有効性 事業の効率性 (費用対効果)
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が 10 点以上(12 点満点)	
	判定(ランク)		B	B	視点別評価の合計点が 8 点以上 10 点未満
				C	視点別評価の合計点が 6 点以上 8 点未満
			D	視点別評価の合計点が 6 点未満	

【平成 20 年度畜産振興補助事業評価結果】

事業名		(1)地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名		(社) 中央畜産会	
補助金等の名称		担い手育成・確保・増強推進費、畜産関連公益活動費、地域畜産連携協調体制推進費					
事業の内容	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 (地全協) (平成 20 年度)畜産振興事業補助実施要綱 (事業実施主体) 第 47 回総括畜産コンサルタント資格試験実施細則 平成 20 年度新任者研修実施要領 平成 20 年度経営指導従事者専門研修実施要領 平成 20 年度畜産関係団体調整機能強化事業委託要領		事業の目的	趣旨	畜産経営の安定及び高度化	
					実施方法	地域畜産協会への経営技術指導 総括畜産コンサルタント試験の実施 地域畜産協会業務の円滑化の推進 畜産関係団体の調整機能の強化等	
					受益対象者	地域畜産協会、生産者、消費者	
事業の内容	道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる業務及び道府県畜産協会等の支援指導を行う次に掲げる事業を実施した。 畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化を図る事業 道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる事業 ・ 総括畜産コンサルタント資格試験の実施(試験委員 10 名、書類審査、面接試験、受験者 30 名、合格者 20 名) ・ 畜産会業務円滑化推進業務の実施(埼玉県、千葉県、石川県、愛知県、奈良県、和歌山県、愛媛県、熊本県、宮崎県) 地域畜産に対する理解増進等関連公益活動体制の強化を図る事業 畜産関係団体の活性化及び連携強化と生産者を中心とする支援組織づくりの推進(道府県畜産協会等へ業務委託を含む。) ・ 畜産会支援生産者組織整備事業(30 道府県) ・ 地方競馬開催支援促進事業(競馬開催 13 道県) ・ 支援生産者組織交流会開催事業(平成 21 年 3 月 31 日、21 名、中央畜産会会議室) 地域団体と連携協調体制の基盤強化を図る事業 畜産関係団体が実施する事業の円滑化、必要な知識等の強化を図ることを目的とする経営指導技術向上事業 ・ 新任者基礎現地研修(研修者:13 名) ・ 派遣講座(研修者:24 名) ・ 畜産経営支援検討会(延べ 63 名)						
補助金額(千円)	前年度(19 実績)	79,684	評価年度(20 実績)	76,874	今年度(21 計画)	85,410	備考
視点別評価	I 計画の達成度 4 3 2 1 0 III 事業の効率性(費用対効果)  II 事業の有効性						【評価項目】 計画の達成度 事業の有効性 事業の効率性 (費用対効果)
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義			
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が 10 点以上(12 点満点)			
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が 8 点以上 10 点未満			
			C	視点別評価の合計点が 6 点以上 8 点未満			
			D	視点別評価の合計点が 6 点未満			

[平成 20 年度畜産振興補助事業評価結果]

事業名		(1)地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名		(社)北海道酪農畜産協会他全国 45 団体			
補助金等の名称		担い手育成・確保・増強推進費、畜産関連公益活動費、事業実施体制強化推進費、地域畜産連携協調体制推進費、地域一体型事業推進費							
事業の内容	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 〔地全協〕 (平成 20 年度)畜産振興事業補助実施要綱		事業の目的	趣旨	地域畜産経営の安定及び高度化			
	事業の内容	<p>地方公共団体の財政支援を受けて、自らの体制強化を図る次に掲げる事業を実施した。</p> <p>畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化を図る事業</p> <p>高度な経営技術を基礎とした効率的で生産性の高い畜産経営の発展を推進するため、畜産農家等に対して、経営診断による改善指導、フォローアップ指導等の経営指導を行い、ホームページで広く情報を提供し、畜産経営技術の高度化並びに経営改善を図ること等を目的とした事業の実施。</p> <p>地域畜産に対する理解増進等関連公益活動体制の強化を図る事業</p> <p>畜産物の生産現場や畜産の果たしている役割について消費者や児童生徒の理解を促し、都市と農村の交流を図るため教育機関・関係諸団体と連携し、食育及びふれあい体験活動並びに情報の提供を行うとともに家畜伝染病や食肉の安全性等の情報を正確に伝達し、国内畜産への理解醸成と国産食肉の安全安心の周知並びに消費拡大を図ること等を目的とした事業の実施。</p> <p>地方公共団体及び中央団体の補助・委託事業の実施体制の強化を図る事業</p> <p>畜産関係補助・委託事業について、道府県畜産協会等に一元的に集約し、実施することを基本として、その充足率の向上を図ること等を目的とした事業の実施。</p> <p>地域団体と連携協調体制の基盤強化を図る事業</p> <p>畜産経営に関わる関係機関や地域団体との連携強化した体制を再構築することにより地域畜産を支える支援体制基盤の強化を図るとともに、その支援体制による新規就農者等地域の担い手の支援を実施することにより地域生産基盤の強化を図ること等を目的とした事業の実施。</p> <p>地域一体型事業モデル等の創出を図る事業</p> <p>地域畜産の基盤強化並びに一層の推進を図るため、新たな地域一体型の事業モデルの創出を図ること等を目的とした事業の実施。</p>						実施方法	畜産農家に対する経営指導、地域畜産の普及啓発、馬事畜産振興等
					受益対象者	畜産農家、一般消費者等			
補助金額 (千円)		前年度 (19 実績)	評価年度 (20 実績)	今年度 (21 計画)	備考				
		385,522	383,643	388,820					
視点別評価						【評価項目】 計画の達成度 事業の有効性 事業の効率性 (費用対効果)			
総合評価	評価結果			ランク	ランクの定義				
	合計点	9		A	視点別評価の合計点が 10 点以上 (12 点満点)				
				B	視点別評価の合計点が 8 点以上 10 点未満				
	判定(ランク)	B		C	視点別評価の合計点が 6 点以上 8 点未満				
D				視点別評価の合計点が 6 点未満					